

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



2015~2016年度 No.203

## 12月 月報

那須クラブ会長 主題  
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：EMC/MC  
12/8 祈りの輪

那須ワイズメンズク



11月例会（那須街道赤松林植樹） 11月12日(土)

2016~2017年度 主題  
国際会長：(IP) Joan Wilson (カナダ)  
「私たちの未来は、今日より始まる」  
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)  
「ワイズ運動を尊重しよう」  
東日本区理事：(RD) 利根川 恵子 (川越)  
「明日に向かって、今日働こう」  
北東部長：長岡 正彦 (もりおか)  
「明日のために、今土台を築こう」

クラブ役員 事務局  
会長：田村 修也  
副会長：村田 榮  
河野 順子  
書記：荒井 浩元  
会計：鈴木 保江  
担当主事：荒井 浩元  
ブリテン：田村・村田

11月例会データー(出席率：50%)  
在籍者 6名  
例会出席者 3名 メネット 1名  
ゲスト 18名、

今月の聖句  
見よ、あなたの王が来る。彼は  
神に従い、勝利を与えられた者。

(旧)ゼカリヤ書9:9

東京目黒クラブ 那須クラブ  
12月 Happy Birthday  
12/18 村野 絢子 なし

## 巻 頭 言

村田 榮

### 東京目黒クラブの解散に思う

10月22日に東京目黒クラブより遅れている10月号ブリテンが配信されてきました。502号最終号と記されていました。やはり…と落胆すると同時にすべて計算づくしで配慮がなされたブリテンでした。10月8日私たち那須クラブは、アジア学院の収穫感謝祭のために東京目黒クラブが東新部大会のホストクラブとしてのお働きに協力できず申し訳ない気持ちがいっぱいでした（東京目黒クラブの50周年記念の意味合いもありました）。ブリテンには、ホストクラブとしての働きに徹し、素晴らしい大会を成功裡に終えることが出来たこと、今後の5名の方々の働きは、村野会長と山添担当主事は東京世田谷クラブ、村野絢子メンは東京西クラブ、根本メンは退会、福島メンは休会と記されていました。東京目黒クラブとの交流は、私が姫路クラブに在籍していた時、1995年東京目黒クラブとDBCを締結して以来毎年のように交流会がありお目にかかれることを楽しみにしておりました。締結をした当時は、10名を超えるメンバーがおられたように思います。多彩なメンバーがおられ交流を深めました。2010年に那須に引っ越しをしてからは、時間の許される限りは東京目黒クラブの例会に参加しておりました。2015年3月、那須クラブとのDBC締結。那須クラブに新しい風を吹き込んでいただきました。8月にはDBC交流会を那須で開催し、那須疎水の見学を通して楽しい有意義な交わりの時を持つことが出来ました。那須クラブの働きが目先だけになっていたことに少し目を広めることが出来たのもDBC交流のおかげと感謝しております。

わが那須クラブメンバーは6名。EMC活動に力を入れることが大切であると痛感します。「メンバー増強」言葉にすることは簡単なことですがどのようにしてメンバーを増やすのかを考えますと難しいことばかりです。会費のことは一番のネックです。会費に見合う私たちの研鑽と成長の場があるかを考えると少し？マークが付きまします。しかし私たちが誇れることは、ユースリーダーとYMCA活動に協力している事。クリスマス会に養徳園の方々を招待、2月の地域講演会、4月と11月の赤松林再生のための植樹会等々。アジア学院をはじめ地域の方々との交流と活動の場が与えら

れていることです。日々の活動を大切にしながら、メンバー増強のために英知を集めて頑張りたいと思っています。

### 11月例会（植樹例会）報告

日 時：11月12日（土）午前10時～12時  
場 所：那須街道赤松林

参加者：メン：田村会長、村田副会長、荒井。メ  
ネット：村田。ゲスト：黒磯GS他18名

秋の植樹例会は諸般の事情で例年より1週間遅れて11月12日の土曜日に実施しました。いつも参加してくれる地元黒磯ガールスカウト栃木第34団のリーダーからは、9月末に実施予定日の照会があり活動計画に組み入れているとのことでした。当日は晴天に恵まれ、成熟したナラやクヌギ、ヤマザクラやアカシデ等の紅葉が松の緑とハーモニーを奏でていて、秋の木漏れ日の中で美しさを競っていました。

主催者あいさつの後、塩那森林管理署の次長さんのご挨拶を頂き、次いで吉江森林官から、今回は、森づくりの様々な方法の1つで地搔き（じかき）といって、自然に種が落ちるのを受けて、他の草や木に邪魔されないで芽が出るように、親木の下に畑のように土を露出させる方法も植樹と合わせて行うことの説明がなされました。吉江さんはその仕組みが良く理解できるように赤松の球果から取った羽根のついた種を沢山容器に入れてきて、それを空中に蒔きながら、種が風に飛ばされて地面に落ちる様子を見せてくれました。地搔き作業は、新品のスチール熊手と唐鍬の組み合わせで、先ずスチール熊手で落枝落葉を取り除き、樹木の根が邪魔な時には唐鍬で、根を除いて地面を露出する。そして種が飛んで来るのを待つ。一見簡単そうな作業だがとても忍耐のいる作業です。



一通り予定地の地搔き作業が終わった後、植樹です。今年のポット苗は3年生と思われるやや大きめのしっかりした苗木でしたので、植えた後も

## 11月役員会報告

安心して見ることが出来、植林したと言う気分を満喫しました。11時を過ぎた頃には植樹も終わり、森林管理署の方々が、この日の為に準備して下さった木工クラフトのお楽しみタイムになりました。長テーブルにビニールシートでカバーした作業台の上には、大小さまざまな広葉樹の円板とプラスチックの動く目玉、そしてあけびや藤のつるで編んだリースの輪と松ぼっくりと大きな榎の実やクヌギの丸いどんぐりの帽子に赤や緑のリボン。クリスマスアドベントを迎えるアドベントリースの材料と、動物の顔を作る材料が、もう接着剤で貼り着ければ出来るだけに準備されていました。接着剤も木工ボンドではなく、最新のプラスチックガンで瞬間的に固定できるものでした。



吉江森林技術指導官の説明を聞いて、一人ひとり、大人も子供も創造力を発揮して思い思いの作品を作って記念品にしました。送迎の方々も参加しました。もう少し時間のゆとりがあれば、各人の作品を展示して造形展や作品展示会が出来たのに、それをお見せ出来なかったのが残念でした。目の付け方ひとつで、こんなにも表情が変わるものかと驚きました。

例年ですと、大きく広げたブルーシートのお座敷で、持ち寄りのお料理を互いに分け合いながらピクニック気分でお弁当を楽しむのですが、午後からそれぞれ活動が待っているため、会食はしないで、お土産をもって解散になりました。

那須街道沿いには、数年前に植えた苗木が大きく枝を伸ばして、樹冠を青空に向け、新しい林になって続けていました。地球温暖化対策にはエネルギー使用の削減と共に植林活動が重要です。ささやかですが、地域の世代を超える仲間たちと共に植林活動が出来ることは、とても大切なことです。事情が許す限りこの春と秋の植樹活動はこれからも続けて行きたいと願っています。

日時：11月4日（金）18:30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、村田副会長、荒井担当主事・書記、田村メネット、村田メネット

協議事項

### 1. 10月例会の反省

「季節の贈り物」は大変好評であった。シイタケ昆布の販売、ゲーム等に特化するのも方法。ユースリーダーの協力がほしかった。

### 2. 11月例会の件

11月12日（土）に那須街道赤松林の植樹を行う。内容は植樹活動、様々な森づくり、森のハンドクラフト、遊歩道清掃等。竹杭100本村田が作成。

### 3. 12月役員会について

12月2日（金）午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は12月例会、1月例会、その他、ブリテンの原稿

### 4. 12月号ブリテンの内容について

西那須野幼稚園、アジア学院で掲載をする。巻頭言は、村田ワイズ。「ユースリーダーのつぶやき」。

### 5. 12月例会の件

12月18日（金）午後6時～。西那須野教会礼拝堂及び1階ホール。内容はパイプオルガンによる燭火礼拝と祝会。養徳園の招待。説教は大下先生に依頼。

### 6. その他

・国際投票の適用除外の申請済（11/2）

・北東評議会11月26日（土）午後1時から仙台YMCAで開催。那須クラブからは欠席。委任状を発送。

・世界YM・YW合同祈禱会のテキストをメンバー注文する。

・11月26日（土）那須地区教会連合による市民クリスマス会。三島ホールにて。

・3月11日の風揚げはYMCA活動との関係において那須会場は中止する

・ワイズ会計と別途会計の状況について村田会計代行より説明があった。

## 旧西那須野（那須西原）の緑と水（45回）

田村修也

時たまたま山田顕義内務卿が、奥羽地方巡察の途中白河に宿泊するという情報を聞いたので、矢板 武は藤川県令と共に白河の泊り宿に伺候して、竣工目前にしている細竹の西岩崎水路工事の巡察を願い出たところ、内務卿も快諾して、騎馬で巡視することになりました。明治15年11月8日のことでした。

次いで、11月14日には工事がまったく竣工したので通水を試すため、藤川県令は各部長、各課長、属僚を随えて、細竹西岩崎に来て、印南・矢板その他関係者立合いの下に、取入口の仮水留を取扱いました。

この歴史的な通水の瞬間から水路開通式典までのことを、資料ではこう記されています。「嗚呼何たる喜びであろう。那珂川の清流は、滾滾として水路に流れ込むのである。これを見た印南・矢板の胸中は、どんなであったろう。感極まり喜び極まり、語る言葉もなく、ただ涙が溢れるばかりであった。そこで県令一行は、かねて用意してあった小舟に分乗して、水路を下り、その夜は箕輪村に泊まった。飲むべき水もなかった那須野が原に、たあとえ小さくとも舟が浮かぶというのであるから、土地の人々も、驚異の眼をみはったことであろう。

この11月14日は、那須野が原にとって奇縁の碑である。即ち開拓の先駆者矢板武は、嘉永2年11月14日に生まれ、伊藤内務卿、松方勸農局長の那須野巡覧は、明治12年11月14日。本日の試通式、また11月14日とは、不思議なことというべきか。

翌明治15年11月15日、この水路の末端である那須開墾社において、水路開通の式典が挙行された。来会したもの、栃木県令藤川為親、水路関係官、各開墾社社員、移住人、四隣民衆数十人、開墾始まって以来、第一の式典であった。

式典の側らには、掘りたての新水路に清水浣々として流れている。もう水には困らない。待ちに待った移住人達の喜びはどんなであったろう。印南・矢板は、多年の悲願始めて成就し、肩の重荷が一度に落ちた心地であったろう。一同は声を揃えて、高らかに那須野が原の万歳を唱えた。

（付記）なお、旧西那須野町が出版した印南文作・矢板 武—那須野が原開拓先駆者の生涯—には、更に付け加えてこう記されている。「工費総額五

万七千五百八円余、着工以来1年1か月を要した那須原飲用水路はついに完成した。分水路は少し後になるものの、水のない那須東西原の飲用水問題はおおかた解決したわけである。文作・武初め、農場関係者の喜びは非常に大きかったであろう。

ところで分水路については、受益者が自費で開削の予定であった。しかし1か月後の12月15日になって、那須開墾社の田代荒次郎・矢板 武・印南文作は連名で、本幹水路の末端から那須開墾社の農場事務所前までの約8.2kmの分水開削費七百円の拝借願を県令宛てに提出している。これは認められたか否か不明だが、文作や武のしたたかさを感じさせる。分水路は不明な点が多いが、明治16年中には那須開墾社地内に1本、肇耕社に1本、そして青木農場・那須東原開墾社・共墾社を結ぶ1本が開かれたようである。こうして那須開墾社を初めとし、肇耕社・加治屋開墾（後の大山・西郷農場）・青木農場・東原開墾社、那須牧場、共墾社等において飲用水は容易に確保でき、多大な便益を得たのである。

（以下次号）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園  
理事長・園長 福本光夫

西那須野幼稚園、卒園生保護者、那須海城中高、非電化工房等への取材が、「奪われた豊かな暮らし—那須高原6年目の夏」として、ユーチューブの下記のURLで公開されています。タイトルでも検索出来ます。

<https://www.youtube.com/watch?v=ucmE1kA-ooQ>  
インタビューは白石草（はじめ）さん。NPO法人 OurPlanet-TV 代表、一橋大学客員准教授。「ルポ チェルノブイリ28年目の子どもたち ウクライナの取り組みに学ぶ（岩波ブックレット）」の著者です。

その白石草さんがインタビューで、涙しながら尋ねられたので、不覚にも落涙してしまいました。当時は思い出されたからです。東電原発事故より、園庭の除染が終える3ヶ月間、私の判断で全く外遊びはしませんでした。その間、栃木県に対しても小・中・高校だけでなく、幼稚園・保育園の園庭をも測定するようお願いしました。その内容は乳幼児は外部被曝だけでなく、砂を口に持っていく内部被曝もあるので、地上1メートルだけでなく、50cm、地表も測って下さるようお

願いましたが、担当者の鈴木さんが「あー、そんな子もいますね」ということで取り合ってもらえませんでした。「子どもはそうゆうものですよ」と申し上げても全く受け付けてもらえませんでした。県から送ってきた額入りの「とちぎのこども育成憲章」には、「子どもたちの命を大切に」と掲げています。幼稚園には無く、県職員1人1人に贈って欲しいと思いました。5月になり、幼稚園も測ってくれるようになりました。実際に空間放射線量計測に来られた県職員の方はとても親切で、園庭中央部1カ所だけではなく、こちらの要望に応じてくれました。県の計測で、園庭中央部で放射線管理区域の基準を超えた $0.78\mu\text{Sv/h}$  (地上10cm)の汚染がわかり、未成年は働いてはいけない所、そして、有資格者であったとしても飲み食いしてはいけない場所であることが公に確認出来ました。その結果を受けて、自費で園庭の除染を行いました。その事に対して、「除染の必要が無い地域なのに勝手に除染した」、除染費用が入園料よりもお金がかかっているにも関わらず「園児募集の為に除染した」、「土地の値段が下がる」、市主催の講演会で識者から、「外で遊ばせない園があると聞いてますが、外で遊ばせないことによる肥満の方が危険」ということを耳にしたり、保育園の園長会でも市の担当者から「まさか園庭を除染するような園はありませんよね」との発言があったり。給食用逆浸透膜浄水器の導入も代理店問題ですんなり行きませんでした。その他、子どもたちの為には、今となっては効果疑問ですが、EM菌等の微生物が増殖しやすいように園庭に風化貝7tを撒く、当時考えられた子どもに出来ることは全てやりましたが、強い疎外感にうちひしがれておりました。そのような日々の中で、私が支えていたと思っていた子どもたちですが、実は私がおその笑顔に支えられていたこと。教師も3ヶ月間の室内保育はとても大変だったと思います。当時の保護者の皆様も、本園以外の他の園や学校では屋外活動をしているのにも関わらず、信頼し、協力して下さったことが走馬燈の様に頭によぎりました。支えていただいた子どもたち、教師、保護者の皆様への感謝の涙です。

汚染はまだ継続しています。幼稚園の山林観察園、キャンプ場は汚染されているため使えません。神様がノアの箱舟を通して、大自然の管理をゆだねられた人間が、同じ轍をふまないようにしたいものです。子どもの笑顔を消さないように(「しらゆり2016.11.2号」加筆修正)。

## 今後の予定

### ・12月役員会

日時：12月2日(金)午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：12月例会、1月例会、2月例会、1月号ブリテンの発行等。

### ・12月(クリスマス)例会

日時：12月18日(土)18:00～

場所：日本基督教団西那須野教会

内容：パイプオルガンによる燭火礼拝と祝会。一品持ち寄り。養徳園の生徒さんを招待。

会費：1,000円

### ・アジア学院卒業式

日時：12月10日(土)13:30～

### ・1月役員会

日時：1月6日(金)午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：1月例会、2月例会、講演会、2月号ブリテンの発行等。

### ・1月新年例会

日時：1月20日(金)午後6時～

場所：岡繁(大田原市山手1丁目)

内容：新年を語る

## アジア学院たより

学校法人 アジア学院

校長 荒川 朋子

### 地震再び ～アジア学院ベクレルセンターの思い～

今朝大きな地震があった。あの時と同じ福島県沖が震源地だった。嫌な思い出がよみがえる。しかも福島原発の様子がなかなか伝えられてこない。ようやく耳に入ったのは、「福島第2原発の第3号機で使用済み核燃料の冷却装置が停止」。後に「冷却装置再開」のニュースが伝えられたが、何とも嫌な響きだ。揺れによる被害はたとえ時間がかかっても何とかなる。でも放射能の被害がどれほどのものであるか、今繰り返す必要もない。

創立から40年を経過しているアジア学院は、5年前の震災当時はほとんどの建物が老朽化し、現に最もひどい建物は建て替えの最中だった。震度6弱の揺れは老朽化した建物に壊滅的な衝撃を

与え、崩れ落ちることすら免れたが、壁には無数の亀裂ができたり、基礎と壁の間に10センチ以上の隙間ができて、やっと立っているような状態だった。あの日から5年かけて、多くの方々にご支援をいただいて、今年の3月によく震災復興事業を完了したところであった。

しかし放射能の被害はそう簡単ではない。もう近隣の方々はあまり心配もしていないようにも見えるのだが、2012年1月に開設したアジア学院ベクレルセンターでは、まだ週4日計測を継続し、最低でも10年間（あと5年）は測定を続けようと頑張っている。開設以来ほぼ毎日検体を続けているのが、アジア学院の農産物と西那須野幼稚園の給食である。日によっては1件の検体もないこともあり、測定ボランティアさんの士気が下がることもあるが、西那須野幼稚園さんがまた必ず持ってきてくださるとい希望が、ベクレルセンターの継続の動機になっている。また関心は低くなったといっても、全くなかったというわけではない。細々ではあるが、近隣の、時には遠方の方が、「やっとちゃんと測ってくれるところを見つけた!」と言って検体を持って来られる。私たちはそういう方が一人でもいる限り、測定を継続したいと思っている。そしてすでに5,000件以上になった計測データが、将来役立つことを願っている。

アジア学院ベクレルセンター開設当初から測定ボランティアを続けてくださっている方の感想をご紹介します。「国や地方政府は放射能に関する食の安全性を声高に訴えています、本当に全ての食材を十分に測定できているのか、疑問に感じています。私たちは自分たちで放射能測定を行うことによって、安全なものとは何かを実感を持つことができました。少なくとも西那須野の地域においては、地元で栽培された穀物飼料で肥育されている畜産品は安全であることが確認されていますが、きのこ類や木の実類、野生動物の肉などからは依然として安全とは言えない放射能測定値が検出されております。放射能から子どもを守るという見地に立ち今後もアジア学院のボランティアとして、放射能測定とその分析、啓蒙に携わっていきたいと考えています。」

以下に測定の申し込みについての案内をお知らせ致します。(予約制)またアジア学院のHPからもさらに詳しく情報がご覧になれます。

【場所】 那須セミナーハウス(那須塩原市槻沢420-22 アジア学院隣接)

【測定費用】 通常 1,500円/1検体(測定時間60分) 水 4,000円/1検体(測定時間12時間)

【お申込み】 すべて電話にて受付けます

【連絡先】 0287-48-7045

【測定日】 火~金曜日(土、日、月休業) 10:00~12:20、13:30~16:00

【使用機器】 BERTHOLD LB2045

ヨウ素131、セシウム134/137、カリウム40から放出されるガンマ線を計測

## YMCA報告

【「広がれ、子ども食堂の輪!」全国ツアーin 栃木が開催されました!】

11月16日(水)とちぎ青少年センターにて「広がれ、子ども食堂の輪!」全国ツアーin 栃木が開催され、県内外から200名以上の方にお越しいただきました。NPO法人豊島WAKUWAKUネットワーク代表の栗林知恵子様と宇都宮市にて昭和子ども食堂を運営する一般社団法人栃木県若年者支援機構の中野謙作様との基調対談では、それぞれの子ども食堂についてご紹介いただいたのち「子ども食堂がひらく未来」というテーマでお話を頂きました。思い出に残っているエピソードでは子ども食堂を通して支援した親子のお話や、そこで成長をしている子ども、繋がることのできた子どもについてお話がありました。



また、とちぎYMCAの塩澤総主事、荒井スタッフ、YMCAせとうちの市川様、トチギ環境未来基地の大木本様と共同で

「おなかも心もいっぱい 子どもたちに体験格差を生まないために」という分科会を開催させて頂きました。そこでは、子ども食堂を運営するだけでなく、どのような子どもたちへの更なる体験ができるか、事例をもとに受講者の方々とともに考えていきました。今回の講演会をきっかけに、YMCAでも子ども食堂について学びを深め、アクションを起こしていきたいと思えます。

【2016年台日介護予防国際討論会(南投YMCA主催)・第10回日台YMCA連絡委員会・日台YMCAマネージメントセミナーに参加してきました!】

11月7日(月)に、『2016年台日介護予防国際討論会』(南投YMCA主催)が台湾・南投縣において開催され、そこでは『安心な老後生活のために』というテーマに、塩澤総主事、東京YMCAの熊澤様が講師として講演していただきました。塩澤総主事は、日本における介護制度につい



て話し、熊澤様は介護予防体操の実践を行いました。会場には180名程の参加者がおり盛況のうちに終わることができました。

そして、11月8日(火)から11月10日(木)まで、台湾・日月潭で『第10回日台YMCA連絡委員会・日台YMCAマネジメントセミナー』が開催されました。日本と台湾のYMCAから約30名のスタッフが参加し、とちぎYMCAからは塩澤総主事と荒井スタッフが参加しました。そこには日本と台湾のローカルYMCAが集い、YMCAブランディングや中小規模YMCAの展望、ユースエンパワーメントなどについて互いに学び



を深めました。双方のYMCAのスタッフが交流し実り多き時間となりました。

### 【とちぎYMCA・那須YMCAの12月の予定】

- ・12/4(日) ウィンターキャンプ打ち合わせ会@宇都宮YMCA
- ・12/5(月)~12/7(水) 北関東YMCA・東京YMCA合同スキーディレクター・スタッフトレーニング(荒井・長尾が参加)
- ・12/8(木) 日本YMCA同盟第35回国際協力委員会(荒井が出席)
- ・12/10(土)~12/12(月) 北関東YMCAスキーリーダートレーニング(荒井・長尾・リーダー14名が参加)
- ・12/10(土) 那須英会話クラスクリスマスパーティー@那須YMCA
- ・12/17(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(凧作り)
- ・12/24(土) サンタDEラン@宇都宮城址

公園

- ・12/26(月)よりウィンタープログラムがスタート

### 会計よりのお願い

- ・後期の会費の納入をお願いします。東日本区への後期会費納入が控えておりますので。
- ・シイタケ昆布の販売が順調に進んでおりますのも会員皆様のご協力によるものと感謝します。

### 編集後記

- ・ユースリーダーのつぶやきは、今月号はお休みとなりました。勉強と活動が忙しいようです。次月号を楽しみにしてください。
- ・12月号のブリテンは、少しは早くなりましたが、月初めに発行することが出来なく申し訳ありません。原稿を早くお送りいただいた方々にお詫びいたします。
- ・1月号ブリテンは、皆様のご協力によりまして12月末の発行を目指して頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。
- ・気候が変ですね。寒かったり暖かったりで、体調管理がついていきません。風邪を引くと熱は出ませんが咳が大変長く続き、マイコプラズマ肺炎ではないかと考えてしまいます。